

4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち～すこやか安心政策～

高齢者の生きがい・健康づくりを進めるとともに、障害者の社会参加の促進や相談支援体制の整備を図ります。また、地域や家庭における子育て支援をさらに充実し、安心して生み育てることができる環境を整えます。

さらに、地域での暮らしの安全性を高めるための取組を進めるとともに、防災対策や危機管理体制の充実に取り組みます。

1. 子育て環境の充実

(1) 乳幼児医療費助成制度

(897, 042千円)

子育て家庭の負担を軽減するため、入院及び通院時の医療費助成をこれまでの小学校就学前から小学6年生まで拡充する市独自の助成制度を設けることとし、実施に向けて本年度はシステム改修等を行います。

(拡) 助成対象

「0歳～小学校就学前」



「0歳～小学6年生」



(2) 親子つどいの広場整備事業

(89, 429千円)

南部地域の親子つどいの広場の建築工事に着手するとともに、新たに北部地域に親子つどいの広場を設置することとし、本年度は実施設計等を行います。

供用開始予定 南部地域 25年度
北部地域 26年度



(3) 放課後児童健全育成事業

(497, 525千円)

放課後における児童の健全育成を図るため、昼間保護者のいない小学校低学年児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供します。

(拡) 児童クラブ設置数 83箇所→86箇所

(4) 病児・病後児保育事業

(80, 687千円)

保育所に通所中の児童等で、病気の回復期にあるものの、集団保育等が困難な児童を一時的に施設で預かることで、子育てと就労の両立を支援します。

(拡) 実施医療機関 5箇所→6箇所

(5) 認可外保育施設補助金

(62, 209千円)

認可外保育施設に入所している児童の福祉の増進と健全な育成を図るため、認可外保育施設に対する補助を充実します。

(拡) こどもの心が育つ保育推進事業補助金の
新設



(6) 子どもすこやか安心ねっと事業

(18, 689千円)

乳幼児健診後の発達状況などの経過観察が必要な子どもを支援するため、新たに保護者同士の交流の場を提供します。

その他の主な事業

- ・子どものための手当
- ・児童福祉施設整備費等補助金
- ・私立保育所運営費
- ・子育て支援ネットワーク構築事業
- ・妊婦健康診査・健康相談事業
- ・こんにちは赤ちゃん事業

4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち～すこやか安心政策～

2.高齢化対策の推進

(1)すこやか長寿まつり開催事業

(13, 225千円)

家族や地域とのつながりを実感できるスポーツ・文化のイベントとして、新たにすこやか長寿まつりを開催します。



(2)老人クラブ組織強化事業

(2, 432千円)

会員数が減少している老人クラブの活動を活性化させるため、老人クラブ活動の助言・支援等を行い、新規会員の加入促進やクラブ数の増加を図ります。

(3)高齢者地域見守りサポート事業

(2, 424千円)

介護サービス等を受けていない一人暮らしの高齢者等を地域で見守る体制を充実します。



(4)敬老パス交付事業

(452, 185千円)

高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進するため、70歳以上の高齢者に市電・バス・桜島フェリーを正規運賃の1/3の自己負担で利用できる敬老パスを交付します。

(5)はつらつ元気づくり教室事業

(56, 804千円)

元気づくり高齢者が要支援・要介護となることを予防するため、運動器機能向上プログラムと複合プログラムからなる通所型のはつらつ元気づくり教室を実施します。



(6)地域包括支援センター運営事業

(523, 731千円)

高齢者の介護予防・自立支援のため、地域包括支援センターの保健師などが相談支援や介護予防などを行います。

本年度はセンターの増設を行います。

(括)センター数 15箇所→17箇所

(7)介護老人福祉施設等整備費補助金

(53, 900千円)

介護基盤の充実を図るため、施設整備を行う社会福祉法人に対し、建設費の一部を助成します。本年度から新たに老朽施設の改築に対する助成を実施します。

特別養護老人ホーム 1施設

4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち～すこやか安心政策～

3.きめ細かな福祉の充実

(1)わくわく福祉交流フェア(仮称)事業

(8,000千円)

市民の福祉への理解や交流を深めるイベントとして新たにわくわく福祉交流フェア(仮称)を開催します。

開催時期 本年11月

開催場所 中央公園及びその周辺



(2)障害者基幹相談支援センター設置事業

(16,708千円)

身体障害、知的障害及び精神障害を対象とした総合的な相談業務のワンストップ化を図り、虐待防止センターの役割も備えた基幹相談支援センターを設置します。

運用開始予定 本年10月

(3)障害児通所等支援事業

(554,679千円)

障害児に対して放課後等のデイサービスや保育所等への指導員等の訪問を支援します。

4.健康・医療の充実

(1)新南部保健センター整備事業

(220,528千円)

親子つどいの広場との複合施設として整備する新南部保健センターの建築工事に着手します。

供用開始予定 25年度

(2)元気いきいき検診事業

(528,136千円)

特定年齢者の肝炎ウイルス及び大腸がんの無料検診を実施するとともに、がん検診と特定健診等を同時に受診できる会場を増設するほか、新たに電話による個別勧奨に取り組みます。



(3)市立病院建設事業

(4,750,539千円)

新病院の建設工事に着手します。

移転・開院予定 27年度



イメージ

4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち～すこやか安心政策～

5.生活の安全性の向上

(1)セーフコミュニティ推進事業

(14, 301千円)

生涯にわたって安心安全に暮らせるまちづくりを目指すため、事故やけがの原因を調査し、地域ごとの課題に対応した事故等の防止策を市民や関係団体と協働して実施するセーフコミュニティの認証取得を目指した調査や体制づくりに取り組みます。

(2)「気をつけもんそ」消費者トラブル防止事業

(2, 280千円)

消費者トラブルの未然防止を図るため、企業等での出張講座の実施や、社会人に多い消費者トラブルの事例等を掲載した資料を作成するなど、社会人への消費生活啓発の充実を図ります。

6.総合的な危機管理・防災力の充実

(1)避難計画再検討事業

(48, 300千円)

東日本大震災の発生を踏まえ、津波対策等も盛り込んだ避難計画の見直しを行います。



(4)衛星携帯電話整備事業

(3, 530千円)

大規模災害時の情報伝達体制を強化するため、衛星携帯電話を増設します。

(5)桜島大正噴火100周年事業実行委員会負担金

(1, 500千円)

26年1月の桜島大正噴火100年の節目に向けた防災啓発事業等を鹿児島県と連携して実施します。

(2)災害時食糧等物資備蓄事業

(15, 126千円)

大規模災害発生時に避難所等における供給体制が整うまでの食糧や生活必需品の備蓄を行います。

(3)デジタル防災行政無線整備事業

(1, 263, 085千円)

災害時の迅速かつ確実な情報伝達手段として、デジタル防災行政無線の整備工事に取り組みます。

本年度は、鹿児島地域の一部、桜島地区、郡山地域に整備します。

(6)実体験型警防訓練事業

(3, 992千円)

多種多様な災害や事故に対応した訓練を実施するため、消防総合訓練研修センターの改修や訓練用資機材の整備を行い、実体験型の訓練をさらに充実します。

